

一生勉強 一生感動 一生青春 (第17号)

福井いきいき会新聞

2020年5月
発行：福井
いきいき会：
福井市中央1-
9-29：0776
-28-6464
発行責任者
吉岡副会長



オランダのチューリップ公園

医療や感染拡大
予防に尽力され
ている方々にエー
ルを送ろう
日夜、新型コロナ
ウイルス感染者の治
療・看護にあたって
おられる医療関係者
クラスターを追って
感染拡大防止に尽力
されている方々のご
苦労に対して、福井
いきいき会の皆さん
からエールをおくり
ましょう！

いきいき会活動の再開について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため発令された緊急事態宣言の下、当会は三か月にわたって全行事を中止してまいりました。このところ当県におぼろげな新たな感染者は、ほぼ一か月ゼロが続いて緊急事態宣言も解除された。新型コロナウイルス感染拡大を食い止めることができたとして、経済活動を始め、学校、公民館活動をなども徐々に再開されるようになりました。当会では、五月二十五日に役員会を開き、真剣に活動再開について議論を重ねた結果、活動に対する条件を付けて、リスクの少ないサークル活動を再開することにいたしました。六月の行事日程は、折り返しの予定表の通りですが、参加希望者はあらかじめ主宰者に連絡されることをお勧めします。

人生訓 優しい言葉一つで 冬は暖かい

濱田 芳雄



慈母観音

これは日本に古くから伝わっている諺ですが、ほのぼのとしたとても素敵なことわざではないでしようか。優しい言葉をかけられただけで冬中暖かいような気持ちができる。優しい言葉は、人間優しい言葉に飢えており、また優しい言葉をかけられることが、どんなに嬉しいかを、この諺はあらわしているように思います。優しい言葉と言ふのは、仏教ではこれを慈悲と言っています。慈母観音像と云う有名な絵があります。優しいさの象徴はなんといつても母親が第一です。母親は自分の事を全く考えないで子供の為を思って、優しい言葉をかけ、優しく頭を撫でてくれる。このことは人間にとつて一生忘れることのできない思い出になつております。これを考えれば、日常生活においても、社会の世界においても、できる

限り思いやりのある、優しい言葉をかけるような努力が必要ではないかと思ふことになりませう。思いやりのある言葉をかけるのは、その相手の立場に立つて考えることです。よく観察し、その変化をよく見ることです。顔色が悪かったり、何か心配事を抱えていたりすると、敏感にキャッチして、何か私生活の上で変わつたことが起こつたのではないかと心配し、言葉をかけてあげる。そういう時に人々は非常に嬉しい気持ちになるものです。人生の岐路にさしかかっていたようなときに、思いやりのある優しい言葉をひとつつかげられただけで、立ち直ると言う場合がしばしばあります。人は皆、程度の差こそあれ、優しい言葉に飢えていると思ひます。優しい言葉ひとつで、家庭はもう一年の暖かくなると思へば、こんな素敵なことはありません。仏教ではこれを「無罪の七施」と言っています。

4月の川柳 川柳同好会

新コロナ 昔は愛車 今ウイルス 小林 久子

くそコロナ 何処へも
行けず 気が滅入る
来年は 一つの区切り 小坂 武士
古希迎える 齊藤栄三郎

ピンコロはどこへ 行ったか 福井 康人

ウイルスに ばなしの 令和の世 千田 節子

新コロナ

食欲旺盛 激太り 新田ヨシエ

愛犬に なつた気分 新田ヨシエ

密ですッ 群れるカラスに おせつかい 南部 歳子

外出の 自粛を好機に 断捨離だ 澤村 玲子

もういいわコロナ ウイルス飛んでいけ 吉岡 芳夫

うるさいが 元気な妻で ホツとする 吉野 廣

テレワークされると ストレス 増永 一夫

コロナコロナ いい加減にもう来るな 溜まる主婦 松島 成美

出番なし マスクの日に口紅は 山口 由喜子

橋本 小夜子

会員のページ

鉛筆画の楽しみ

増永 雅子

新聞でカルチャーセンターの広告を見ていたら、鉛筆画の教室があるのを目が止まったので、近くのショップピングセンターへ軽い気持ちで見て行きました。そこで、鉛筆画のコーナーを覗いていたら、先生が鉛筆を貸してくださって、机上のリングを描いて、何らかいわれまして、私もわかんない色塗り方を教えてくさいました。先生は、色を塗る方は、絵を見るのは好きで、描くのはあまり好きではない。鉛筆とハガキがあれば、どこでも描けるし、場所もいらぬので、思いまわらぬように、週に二回教室に通い、チラシや家に咲いた花を買ってき、果物を食べる前に描いてみたりして、色鉛筆の色を塗り、色鉛筆の色を塗りかして、いくところがいむつかしいのです。そろ

の後には、息子にインターネットでパソコンにいろいろな画像を出す方法を教えてもらい、気に入った動物とか、金魚、きれいな景色を見つけては、ハガキに絵を描いています。これからは、十二の干支を描こうと思つています。新型コロナウイルス感染拡大防止で外出自粛を要請されて、今は、鉛筆画を描く趣味を持つていてよ



かつたと思つています。福井いきいき会新聞の第十五号にはがきに書いた鉛筆画を載せていたのですが、ここでも近作の三枚を載せていただけですので、ご覧いただければ幸いです。

コロナ災害に思うこと

吉田 一郎

今回の新型コロナウイルス問題ではいろいろなことを考えさせられます。私が特に注目したい二つのことがあります。

一つは災害でさえも人を差別するということです。一見するとコロナウイルスは人を選ばず誰にでも平等に被害を及ぼすように見えます。ところがよく見るとそうではない一面があることに気づきます。今回のコロナ問題でもそうですが災害が起きると一番先に被害を被るのとは社会的に弱い立場にある人たちだという現

実を見逃せません。今回も派遣、契約、アルバイト、パートなどの形で働く立場の弱い非正規雇用の方々が真っ先に失業に直面しています。蓄えも少なく運転資金も融通してもらえない小規模な個人事業主の方たちほど廃業の瀬戸際に追い込まれています。高齢者や疾患をもっている人ほど重篤化しやすいと言われています。大きな目でみれば災害が社会的弱者により大きな被害をもたらすことを否定できません。経済政策、社会福祉政策上の大事な視点ではないでしょうか。二つ目に注目したいのは災害時ほど差別が表面化するということです。今回もウイルスと最前線で戦っている医療従事者やウイルスの被害者である感染者をそして生きるためにやむを得ず営業せざるを得ない人々を攻撃し責めたて一部マスコミの論調や世間の人々の姿が目につきます。同じ感染のリスクを負っている者同士が攻撃しあう姿は人間の醜さ、

愚かさを見せつけてくれます。コロナのような災害がなくてもすでに十分に傷ついている社会的弱者がこれ以上傷つく社会であつてほしくない切に願います。

しかし希望も見えます。今回も助け合い励まし合う市民の動きがあちこちで生まれています。象徴的な言い方になります。弱的な言いがかりが連帯する姿に希望を感じます。今回のコロナ災害は不幸なことですが、私たちがよりよき市民社会のあり方を考えるよい機会にもなるのではないかと思えます。皆さんはどのようにお考えになるでしょうか。

人生百年

増永 一夫



時代は令和、平均寿命が伸びていく中、人生百年も遠くない未来のようを感じます。自分の健康がいかに大事であるか、健康な体があればいつま

でも（働きながらでも）いきいき会の仲間たちと「勉強、感動、青春」をより長く味わい楽しむことができません。

毎月の例会や、好きなサークルには積極的に参加することもでき、面白くて雰囲気も満足、笑顔もバッチリ。いきいき会の新聞には、会員の記事が掲載され、素晴らしい作品や写真の数々も。これからも皆さんの記事を楽しみにしていますよ。

最後に、世界感染症新型コロナウイルスで外出自粛が広がっていますが、まず自分自身が感染しないように免疫の低下には十分気を付けたいですね。そのためには、睡眠、栄養、適度な運動を心がけましょう。

そこで、簡単にできる運動を紹介したいと思います。膝、腰、肩、足首、下肢の筋力にはスクワット。椅子に座ったまま両足のかかとを上げ、両腕を万歳の要領で高く上げ、一、二、三、四と軽快に声を出しながら、テレビを見ながらでもできますよ。ぜひやってみてください。

郵送した福井いきいき会新聞（第十六号）に対する会員の声

コロナ感染予防で私の行動は玄関先と庭先まで。閉じこもり、おひとりさま暮らしの毎日です。いきいき会新聞にて、皆様のエネルギーをいただきました。待ちましよう再開をたのしみに。

いきいき会新聞を郵送いただきありがとうございます。地球上の全人類が病原性微生物コロナ感染の脅威にさらされ長期戦の戦いになりそうです。

A, Hさんより。こんにちは。いきいき会新聞ありがとうございます。私を書くことは全くダメですが、読むことは大好きなので、いきいき会新聞も楽しみにしています。コロナでいつ会が再開するか知りませんが、易しい科学の話も楽しみに待っています。
E, Kさんより。新聞ありがとうございます。サークル活動が休みなのに、ご苦労様です。楽しく読ませていた

いただきました。

M, Yさんより。昨日いきいき会新聞が届きました。活動中止なのに新聞を拜読できるのはうれしい限りです。毎号、大変なことでしょうがよろしく願います。LINEを始めたばかりで、佐藤先生ご夫妻にご指導いただいています。活動が休止で残念ですが、感染防止の行動に努力します。

J, Iさんより。いきいき会新聞ありがとうございます。しばらく会をお休みをしていたのに私を覚えていてくださって嬉しいです。平和になったらぜひ参加します。

R, Tさんより。新聞ありがとうございます。しっかりと読ませていただきましたが、良く編集されており、よかったです。大変だったでしょうがまた頑張ってください。

Y, Hさんより。この一、二年病気がちでしたが、もう元気になりました。休んでいたのに、もう忘れられたかなと思っていましたので、

新聞を送っていただいたことは大変嬉しかったです。再開したらまたサークルに参加したいです。

S, Kさんより。いきいき会新聞を手にするごとに心が温まり、とても癒しになります。まことにありがとうございます。でも無理なさらず体調には十分気を付けて下さい。そして早くコロナが終息することを願います。また皆さんと会えることを待ち望んでいます。

Y, Yさんより。新聞届きました。ありがとうございます。四月四日以降は、カラオケも行かず、外出自粛しています。しかし、今も変わりなく新曲を月に七、八曲自分流に歌っています。脳トレにもなりますので、運動不足で体がなまりがちです。川柳はまた投句させていただけます。コロナのやつに気を付けてね。

K, Mさんより。こんにちは。新聞を届けてくださりありがとうございます。暑くなりそうですが、体調に気を付けてください。

K, Kさんより。新聞ありがとうございます。今から読ませていただきます。体調くれぐれもお気を付けてください。

Y, Fさんより。いつもお世話になっております。いきいき会新聞の編集、発行のご尽力に感謝します。さて私のエッセイをお送りいたします。今回のコロナ問題について書いたものです。早く皆さんと健康マージャンでお会いできることを願っています。

I, Yさんより。本日午後、いきいき会新聞第十六号が我が家に届きました。毎号ワクワクしながら読んでいます。十六号は二回、十五号も読み返しました。女性の会員の記事掲載は親近感があり勇気づけられます。日常の小さなことも工夫とアイディアで遅く暮らす知恵が新鮮なものです。次号も楽しみにしています。ステイホームを余儀なくされる時期新聞が届くといいいきい会を身近に思います。ありがとうございます。

R, Sさんより

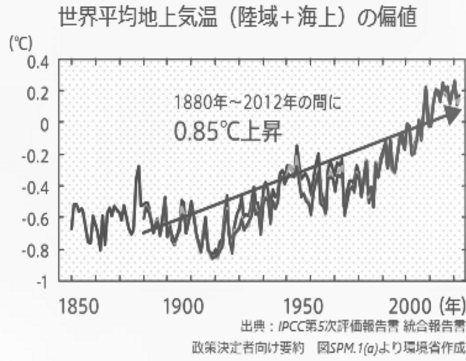
いきいき会のサークル活動の報告

第五十八回の

よるず討論会

令和二年二月十八日に開催された「地球温暖化の現状と対策」をテーマとした討論会が、主催者の大野勉氏...

地球温暖化の問題は、温室効果ガスによる地球の気温上昇が原因です。これは、産業革命以降、化石燃料の大量消費によって引き起こされています...



温暖化の原理

この討論会では、地球温暖化の現状と対策について、大野勉氏と参加者との間で活発な議論が行われました。特に、温室効果ガスの削減と再生可能エネルギーの導入が重要な課題であると指摘されました...

大気中の温室効果ガスが増加すると、地球の気温が上昇し、気候変動を引き起こします。これは、氷河の融解や海面上昇、極端な気象現象の増加など、深刻な影響をもたらします。したがって、温室効果ガスの削減を急務と捉え、持続可能な社会の実現に向けて取り組む必要があります...



アルプス最大の氷河 アレッチ氷河 (写真・Marco Volken/AS出版)

このように、地球温暖化は私たちの生活に大きな影響を与えています。特に、自然災害の増加や農業・漁業への被害など、私たちの生活に直撃しています。したがって、地球温暖化対策を早急に進め、持続可能な社会の実現を目指さなければなりません...

持続可能な社会の実現には、エネルギーの効率化と再生可能エネルギーの導入が不可欠です。また、公共交通機関の利用の促進や、省エネ製品の普及なども重要な取り組みです。政府、企業、市民が連携して取り組むことで、地球温暖化のリスクを軽減し、持続可能な未来を築いていくことができます...

大野 勉 記